様式EN03

**実習生受入れのご検討に際して**

同封の『生産実習・同（S）概要説明書』に記載する授業のねらいと下記内容をご勘案のうえ，生産実習SYSTEMへのWeb登録にて実習生受入れの可否および諸条件をご回答いただきたくお願いいたします。なお，生産実習・同（S）における事故等への補償に関しては別紙「生産実習・同（S）に係る事故等の補償形態について（様式EN02）」，対応に関しては同封「生産実習・同（S）概要説明書」をご確認願います。

１．実習生受入れをお願いする学科・学年・期間

学　科　：　**マネジメント工学科**

学　年　：　３年生および未履修の４年生　※お受入れいただく人数に制限はございません。

期　間　：　**7月中旬～9月中旬もしくは大学行事(授業等)に差支えのない期間のうち**

**実働日数10日間**(10日以上で実働時間が合計70時間でも可)

※実働日数は，実習期間のうち休日を除いた勤務日数を指し，10日間のお受入れが困難な場合，5日間でのお受入れをご検討願います。

**（本学では，学習効果向上のため長期実習を推奨し，長期希望学生を優先的に派遣いたします．）**

※実働時間は，勤務時間から休憩時間（1時間）を除いた実労働時間を指し，本学科では計70時間（実働10日間）以上を単位認定条件としています。

※実働日数が10日間に僅かに満たない場合は，実働時間が計70時間以上となるよう勤務時間や実習内容をご調整願います。

※上記の条件を基本として，派遣決定後に個別にご調整いただくこと，実習生ごとに異なる実働日数・時間等でご対応いただくことも可能です。

勤務時間：　貴機関の規定および実習内容・状況等に準じます。

２．実習内容について

　　デスクワークや現場補助等の実習内容に制約はなく，機関内研修（OJT）と同様に「実践」を重視してご検討願います。ただし，大きな危険を伴う作業はなるべく避けていただくよう，お願いいたします。なお，実習内容の一例を同封『生産実習・同（S）概要説明書（P.6）』，生産実習ドキュメントを本学部ホームページ（http://www.cit.nihon-u.ac.jp/）に掲載しておりますので，ご参照いただければ幸いです。実習生受入れ，実習内容および諸手続きに関してご不明な点等がございましたら，下記の連絡先・担当者までお問い合わせ願います。

連絡先　：　日本大学生産工学部マネジメント工学科

***学生によって担当の教員が異なります***。

担当教員：　　　　　　　　　　　　　　　ＴＥＬ　 ０４７－４７４－

　　　　　E-mail　　　　　 @nihon-u.ac.jp

マネジメント工学科事務室　ＴＥＬ　 ０４７－４７４－２６０１

ＦＡＸ　 ０４７－４７４－２６１９

『生産実習・同（S）』における実習の条件・内容等について

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　目 | 内　　容 |
| 対象学科 | マネジメント工学科 |
| 科目名 | 生産実習・同（S）（３年次必修科目） |
| 対象学年 | ３年生（原則として次年度卒業見込みのもの）および未履修の４年生 |
| 学習到達目標 | ① 実習経験を通して社会人の立場と技術者の役割を認識し，幅広い知識や技能を実践しながら技術者としての倫理観を醸成することができる。② 自身の傾向や社会のニーズを捉えて適切な目標を設定し，日々の経験に挑戦と省察を重ねて技術者としての資質を自ら高めることができる。 |
| 単位認定基準 | 実働時間の合計が**70時間**を満たすものを採点の対象とし，以下の成果物に対する各採点結果に基づき成績を評価する。**生産実習NOTES（50%）**，**所見票（20%）**，**実習成果報告書・概要（20%）**，**実習成果発表（10%）** |
| 実習期間および実働日数・時間 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実習期間（目安） | 実働日数（目安） | 実働時間 |
| 8月上旬 ～ 9月上旬 | 10日間 | 70時間以上 |
| もしくは |
| 実習期間（目安） | 実働日数（目安） | 実働時間 |
| 8月上旬 ～ 8月中旬 | 5日間 | 35時間以上 |
| 8月下旬 ～ 9月上旬 | 5日間 | 35時間以上 |

**※単独の実習先で実働時間が70時間に満たない場合，教員が志望理由と実習内容を確認のうえ，実習生は実働時間が計70時間以上となるよう複数の実習先を組み合わせて実施する場合がある。****さらに、上記期間は目安であり、もしくは大学行事(授業等)に差支えのない期間も可能。** |
| 主な実習・就職先 | （株）船井総合研究所，東京電力（株），富士通（株），（株）トンボ鉛筆，コナミホールディングス（株），東海旅客鉄道（株），日本通運（株），財務省，三菱重工業（株），山崎製パン（株），トッパン・フォームズ（株），日本電気（株），（株）荘内銀行，ＴＯＴＯ（株），（株）富山村田製作所，三菱電機住環境システムズ（株），新潟縣信用組合，清水建設（株），全国農業（協組連），朝日生命保険（相），東日本旅客鉄道（株），野村證券（株），清水建設（株），鈴与（株），スズキ（株），リコージャパン（株）など |
| 学科および学生が希望する実習内容 | ①生産管理関連の業務生産管理補助，設備等の点検・保守業務補助，品質管理補助，工場・施設見学など②情報システム関連の業務業務プロセスのシステム構築・運用・保守業務及び補助，施設見学など③ロジスティクス関連の業務物流・倉庫管理・在庫管理業務及び補助施設見学　など④フードマネジメント関連の業務食品に関わる営業，企画，生産管理，財務などの管理業務及び補助，施設見学　など⑤製品企画開発関連の業務製品などの企画、設計、生産に関わる業務及び補助、施設見学など市場調査、マーケティング業務及び補助⑥その他の業務体験建設関連イベントの運営補助，安全衛生管理等の点検補助，など※ご不明な点がございましたら担当教員等にお聞きください。 |